



ゆのおっ子だより

令和7年度 湯尾小学校長だより
2026.3.17 NO. 52

— 第79回 卒業証書授与式 —



17日(火)に、令和7年度 第79回卒業証書授与式が行われました。

13名の卒業生が、湯尾小学校を巣立っていきました。

春のうららかな日差しの元、卒業生のこれからの前途を祝福するかのようなどとも良い日でした。卒業生は、ちょっと緊張した面持ちで入場すると、キビキビとした態度で卒業証書を受け取り、晴れやかに卒業していきました。とても立派だったと思います。

そして、在校生も卒業生を感謝の気持ちで送り出すために大きな声で歌を歌い、大きな拍手で卒業生を称えました。とても立派な態度でした。

中でも、全校児童による「お別れの言葉」は、卒業生一人一人の気持ちが込められていてとても感動させられました。それに答える在校生の言葉もとても大きな声で、心に響きました。校歌もとても素晴らしかったです。「ありがとう」の歌もとても気持ちがこもっていて感動的でした。

大変良い卒業式でした。

きっと卒業生の皆さんは、中学校でも大活躍してくれることでしょう！

頑張ってください！！期待しています。

以下は、校長の式辞の一部です。

(前略)

皆さんは 四月からはよいよ中学生です。そんな皆さんに 私から はなむけの言葉として私が心を動かされた言葉を紹介したいと思います。それは、皆さんもよく知っている そして、今年度の体育大会にも登場した「アンパンマン」の作者である「やなせたかしさん」がアンパンマンに込めた思いです。

「人を助けることが真の正義である」「人を喜ばせることが幸せである」という言葉です。

くしくも、今年度私の方からも、「あいだ」を頑張ろうと全校に投げかけました。

「あいだ」の(あ)は「あいさつ」 (い)は「一生懸命」 そして (だ)は「だれかのために」でした。

「人を助けること」「人を喜ばせること」それは、正に「だれかのために」です。これまでの皆さんを見ていると一生懸命に「だれかのために」を実行していたように思います。ぜひこれからも「人を助けること」「人を喜ばせること」を心に持って生きていってほしいと思います。そうすれば、必ず幸せは皆さん一人一人に訪れます。

(後略)